

平成21年6月18日現在

研究種目：基盤研究（A）
研究期間：2005～2008
課題番号：17202003
研究課題名（和文） 世界神話のコスモロジー

研究課題名（英文） Cosmology of the World Mythology

研究代表者 篠田 知和基（SHINODA CHIWAKI）
広島市立大学・国際学部・客員研究員
研究者番号 00022260

研究成果の概要：「ユーラシアの神話の道」「海洋神話」につづき、主として天空の神話を世界神話においてしらべて比較し、そこから各文化の世界観、すなわちコスモロジーを究明した。天空神話としては日月、風、星辰、それに「天界」の神話をとりあげた。

交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2005年度	10,100,000	3,030,000	13,130,000
2006年度	8,430,000	2,420,000	10,850,000
2007年度	7,900,000	2,370,000	10,270,000
2008年度	9,000,000	2,700,000	11,700,000
年度			
総計	35,430,000	10,520,000	45,950,000

研究分野：人文

科研費の分科・細目：哲学・宗教学

キーワード：神話、天空、コスモロジー、星、天体、宗教、民俗、世界観、説話、神道

1. 研究開始当初の背景

インド・ヨーロッパ神話がユーラシア全域に分布しているという認識にくわえ、日本神話もその影響を受けているという仮説があった。ほかにオセアニア、シベリア、アメリカなどにも共通の神話要素があるとみなされていた。ただし吉田敦彦による先駆的研究以外、日本とインド・ヨーロッパ神話との比較研究の集積はすくなかった。海洋神話の比較においてはそれまでの科学研究「海洋神話の比較」があり、それをまとめた「世界の洪水神話」も刊行されていたが、天空神話はとりあげられていなかった。フランスの研究者たちとの連携がたもたれていたため、それをもとにして比較研究を行う基盤ができていた。

2. 研究の目的

世界の神話の形成において日本もふくめた広域の移動、分布、影響があったという仮説を比較研究によって論証することをめざした。とりわけ、太陽、月、星など共通の形象をあつかう神話において、説話構造の共通性をふまえ、伝播の可能性をさぐることを目した。とくに類似の神話を世界各地にもとめ、比較例を集積し、たとえばスバルを世界各地でどのような名前呼び、どのような神話が形成されているかをできうるかぎりしらべようとした。また、そこから世界各地の世界観、宗教観についての考察にもおよぶことを予定した。

3. 研究の方法

日月、風、鳥、星などの神話を中国、メソポタミア以来の世界各地に求め、その起源説明神話などを比較し、対応する神話素の欠落する文化においては、それを共通の神話体系のなかにおいて補完する方法をとった。神話の比較と分析においてはデュメジルとレヴィ＝ストロースの方法を援用した。日本と中国の比較においては伊藤清司の先駆的研究にしたがった。それぞれの連携研究者がそれぞれのフィールド（沖縄、インド、韓国、フランス、トルコ、オリエント、ロシア）へ赴き、調査をかさね、その成果をもちよって毎年二回のシンポジウムで世界神話のつきあわせを行った。

4. 研究成果

大気圏内の気象現象（風、嵐など）の神話、日月、星辰の神話について、世界神話の比較の結果、従来、欠如しているとみられた神話の掘り起こしがなされた。

まず、世界的に月信仰があり、それが太陽信仰にとって代わられる様相があきらかになり、複数の太陽を射落とす神話の共通性も確認された。天空世界と地上世界の交通手段としての鳥船神話が、鳥の神話の比較や、日本の弥生時代の出土品の文様の分析などによって世界に共通することがわかり、星についてはロシアや日本には星神話が乏しいという従来の通説を訂正することができた。伊勢にもともと明星が降下してアマテラスになったという伝承があったこと、あるいは伊勢神宮儀式帳にスバル女信仰についての記述があることなど、貴重な発見があり、その伝承の世界神話内での正統性は世界の明星降下伝承やスバル伝承と比較して確認された。ほかに雷神信仰と鍛冶神信仰の接続を神話的にあつづけたことなども本研究の成果である。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計16件）

近藤（岡本）久美子「詠う詩、歌う詩 -カスィーダガポップまで-」 pp. 145-152 昔話-研究と資料 37号、日本昔話学会 2009年3月
小南一郎「父母恩重経」の形成と孝子伝説の変貌、説話伝承の脱領域 2008、pp7-40

三原幸久「イビクスの鶴」と「言うなの地蔵」、説話伝承の脱領域 2008、pp71-110

丸山顕徳「沖縄池間神話の現在」説話伝承の脱領域 2008、pp393-412

百田弥栄子「中国の芋環の糸、-三輪山説話」

説話伝承の脱領域 2008、pp487-504

依田千百子「朝鮮の作物起源神話」説話伝承の脱領域 2008、pp505-527

鈴木正崇、「空間の表象としての人形—山形県飽海郡遊佐町の場合—」『哲学』119集（特集：文化人類学の現代的課題Ⅱ）三田哲学会、1~34頁、2008年3月28日

Suzuki Masataka, Bhuta and Daiva: Changing Cosmology of Rituals and Narratives in Karnataka”, Senri Ethnological Studies (Music and Society in South Asia: Perspectives from Japan); Osaka, National Museum of Ethnology; No. 71/P. 51-85; 2008/03/31.

篠田知和基「「天人女房」と世界の類話」広島国際研究、13巻、2007、pp93-119

harp.lib.hiroshima-u.ac.jp/handle/harp/671

木村武史「神話語りの芸術的表象—ハイダの芸術家ビル・リードに見られる二重の他者性と先住民性」思想、32、2007、pp25-42

丸山顕徳、篠田知和基、依田千百子ほか「日中韓の靈魂観の違い」アジア遊学、2007-7、pp4-145

三原幸久「ボリビアの昔話伝承」説話伝承学、13、2007、pp5-21

広田律子、「中国湖南省のヤオ族の儀礼に見出す道教の影響」東方宗教、110、2007、pp57-81

小南一郎「漢代の喪葬儀礼—その宇宙論的構造—」アジア文化交流研究2、2007、pp175-187

篠田知和基「地中海地域の昔話」広島国際研究、12巻、2006、pp179-194

harp.lib.hiroshima-u.ac.jp/handle/harp/789

Kazuo Matsumura, Nelly Naumann's Contribution to the Study of Japanese Religion and Myth, Religious Studies Review, 32-3, 2006, pp163-168

Mizuno Tomoaki, The Symbolism of Spirals and Sun-Wheels in Connection with the Labyrinth Myth; A Linkage between Northern and Southern Europe, 信州大学人文科学論集、40、2006、pp13-26

〔学会発表〕（計7件）

Okamoto(Kondo)Kumiko, "On the tale of the Swan Maiden in Arabic and Asian narratives" 2008年9月6日 ウランバートル 国立モンゴル大学 AFMA (Asian Federation of Middle East Studies) 第7回大会

篠田知和基「メリュージヌ伝承の東西」説話伝承学会、2008、名古屋大学

Suzuki Masataka, "Kumano Beliefs and Yudate Kagura", Shugendo: The history and Culture of a Japanese Religion, Columbia Center for Japanese Religion, Columbia

University, 2008/4/26.

鈴木 正崇:「田公堂」木偶戯について ; 首届 上杭水竹洋「田公堂」木偶芸術節既学術討論会、中共白砂鎮委員会・白砂鎮人民政府、中華人民共和国福建省上杭白砂鎮政府、2008/07/27

Chiwaki Shinoda, l'Interdit de dire dans les contes populaires japonais, Rencontre d'Aubrac, 2008, Aubrac

Chiwaki Shinoda, le Corps monstrueux dans les contes populaires japonais, Les Imaginaires du corps en mutation, Universite Stendhal, 2007

Chiwaki Shinoda, la Diffusion maritime des traditions sur Melusine, 世界文明学会パリ大会、2006、パリ大学

[図書] (計 30件)

篠田知和基、吉田敦彦、諏訪春雄、山本節ほか「天空の神話学」楽瑯書院、2009、692頁。

諏訪春雄「大地、女性、太陽」勉誠出版、2009、194頁

諏訪春雄「天皇と女性霊力」新典社、2008、126頁

篠田知和基「世界動物神話」八坂書房、2008、465頁

篠田知和基「空と海の神話学」楽瑯書院、2008、407頁

篠田知和基、栗原成郎、諏訪春雄、依田千百子ほか「神話・象徴・言語」楽瑯書院、2008、955頁

篠田知和基、荻原真子、中根千絵、諏訪春雄、山本節、丸山顕徳、目崎茂和、岡本久美子、松村一男ほか「星空のロマンス」GRMC, 2008, 171p

松村一男「この世界のはじまりの物語」白水社、2008、170頁

松村一男ほか『哲学と哲学史』(哲学の歴史 別巻)、中央公論新社、2008・8・30、251-258頁執筆

荻原真子編「「伝承」に関する学際的研究」千葉大学、2008、74頁

池上良正、小松和彦、内田順子ほか「異界談義」、国立歴史民族博物館編、光文社、2008、251頁

小松和彦「神になった日本人」日本放送出版協会、2008、150頁

Michel Tournier, Arlette Bouloumie, Gerard Jaquin, Nicole Belmont, Chiwaki Shinoda, Les Vivants et les Morts, Imago, 2008, 308p

鈴木正崇編、鈴木正崇、坂田貞二、外川昌彦ほか『神話と芸能のインドー神々を演じる人々』山川出版社、全256頁、2008年8月31日

後藤明「カメハメハ大王」勉誠出版、200

8, 179p

市川裕・松村一男・渡辺和子編『宗教史とは何か』上巻、リトン、2008年9月30日、4246頁

上村くに子、篠田知和基ほか、「暴力の発生と連鎖」人文書院、2008、264頁

篠田知和基、荻原真子、中根千絵、山本節、丸山顕徳、松村一男、依田千百子、不破有理、門田真知子、吉田敦彦ほか「天空遊行一天への道」GRMC, 2007, 227頁

依田千百子「朝鮮の王権と神話伝承」勉誠出版社、2007、440頁

依田千百子「朝鮮の祭儀と食文化」勉誠出版社、2007、331頁

荻原真子編「ユーラシアにおける精神文化の研究」2007、千葉大学、99頁

吉田敦彦「ギリシャ悲劇を読む」青土社、2007、218頁

松村一男・山中弘編『神話と現代』リトン、2007・12・12, 460p

永澤峻編、松村一男ほか『死と来世の神話学』言叢社、2007・2・28、350頁

立川武蔵「仏とはなにか」講談社、2007、2243頁

小南一郎「古代中国、天命と青銅器」京都大学学術出版会、2006、289頁

篠田知和基、荻原真子、中根千絵、山本節、丸山顕徳、松村一男、依田千百子、不破有理、門田真知子、吉田敦彦ほか「風と鳥の神話学天がける神霊」GRMC, 2006, 236頁

立川武蔵「マンダラという世界」講談社、2006、212頁

吉田敦彦「日本神話」PHP, 2006, 233頁

吉田敦彦「鬼と悪魔」青土社、2006, 248頁

吉田敦彦編、吉田敦彦、松村一男、ほか「比較神話学の鳥瞰図」大和書房、2006, 502頁

6. 研究組織

(1) 研究代表者

篠田 知和基 (SHINODA CHIWAKI)

広島市立大学・国際学部・客員研究員

研究者番号：00022260

(2) 研究分担者

なし

(3) 連携研究者

吉田 敦彦 (YOSHIDA ATSUHIKO)

学習院大学名誉教授

研究者番号：20054322

諏訪 春雄(SUWA HARUO)
学習院大学名誉教授
研究者番号：60082921
栗原 成郎(KURIHARA SIGEO)
東京大学名誉教授
研究者番号：70015359
三原 幸久(MIHARA YUKIHISA)
関西外国語大学名誉教授
研究者番号：00030156
中根 千絵(NAKANE CHIE)
愛知県立大学・文学部・准教授
研究者番号：80326131
鷹巣 純(TAKASU JUN)
愛知教育大学・教育学部・准教授
研究者番号：00252206
目崎 茂和(MESAKI SHIGEKAZU)
南山大学・総合政策学部・教授
研究者番号：80101187
後藤 明(GOTO AKIRA)
南山大学・文学部・教授
研究者番号：40205589
丸山 顕徳(MARUYAMA AKINORI)
花園大学・文学部・教授
研究者番号：10239155
依田 千百子(YODA CHIHOKO)
摂南大学・文学部・教授
研究者番号：20149149
松村 一男(MATSUMURA KAZUO)
和光大学・表現学部・教授
研究者番号：70183952
岡本 久美子(OKAMOTO KUMIKO)
大阪大学・世界言語文化センター・准教授
研究者番号：90273739
立川 武蔵(TACHIKAWA MUSASHI)
愛知大学・文学部・教授
研究者番号：0002036
小松 和彦(KOMATSU KAZUHIKO)
国際日本文化研究センター・教授
研究者番号：90111781
百田 弥栄子(MOMOTA YAEKO)
中日文化研究所・研究員
研究者番号：80353506
小南 一郎(KOMINAMI ICHIRO)
龍谷大学・文学部・教授
研究者番号：50027554
鈴木 正崇(SUZUKI MASATAKA)
慶応義塾大学・文学部・教授
研究者番号：10126279
門田 真知子(KADOTA MACHIKO)
鳥取大学・地域学部・教授
研究者番号：10224560
蔵持 不三也(KURAMOCHI FUMIYA)
早稲田大学・人間科学部・教授

研究者番号：40195540
不破 有理(FUWA YURI)
慶応義塾大学・経済学部・教授
研究者番号：60156982
服部 等作(HATORI TOUSAKU)
広島市立大学・芸術学部・教授
研究者番号：50218509
広田 律子(HIROTA RITSUKO)
神奈川大学・経営学部・教授
研究者番号：70260990
荻原 真子(OGIHARA SHINKO)
千葉大学・文学研究科・教授
研究者番号：00129074
木村武史(KIMURA TAKEISHI)
筑波大学・人文社会科学研究科・教授
研究者番号：00294611
宮本正興(MIYAMOTO MASAOKI)
中部大学・国際関係学部・教授
研究者番号：60066701
クネヒト・ペトロ(KUNEHITO PETORO)
南山大学・名誉教授
研究者番号：00121468
水野知昭(MIZUNO TOMOAKI)
元信州大学・人文学部・教授(死去)
研究者番号：30108435

(3) 研究協力者

中堀 正洋(NAKAHORI MASAHIRO)
創価大学・文学部・助教
研究者番号70460087